場所　２年６組教室

第２学年６組　英語科学習指導案

授業者　村橋　翔

１　単元　「Unit5　What design is good for everyone?」
～I will tell you my idea.～
探究課題「みんなに広めたいユニバーサルデザインを決めて、伝えよう」

２　本時の指導

（１）段階　「習得」　７／１０　時間

（２）目標

・主語＋be 動詞＋形容詞＋that の構文の使い方を理解し、自分の感情や心理を表す英文を書くことができる。　（「習得」に関わる目標）

（３）本時の指導展開

時間	学習活動	教師の手だてと支援
0	１　前時までの学習内容を確認する。 ・疑問詞 how＋to＋動詞の原形で、「どのように～するか」という意味になる。主語＋動詞＋（人）＋to＋動詞の原形で、「人に…を～する」という意味になる。	・前時までの学習内容を想起しやすくするために、例文を提示し、文法事項について確認する時間を設定する。自分のユニバーサルデザイン紹介文を確認することで、どのように学習した文法を取り入れていたか振り返ることができるようにする。
5	２　本時の新出文法を確認する。 ・主語＋be 動詞＋形容詞＋that を用いた英文で、自分の感情や心理を表現することができる。	・本時の新出文法の使い方を理解するために、モデルとなるユニバーサルデザインの紹介文で本時の新出文法を用いた英文を提示する。 ・練習問題に取り組むことで、文法の使い方を確認できるようにする。
20	３　本時の学習課題を確認する。 学習課題　みんなにユニバーサルデザインを広めるために、自分の感情や心理を表す英文を付け加えよう。	
25	４　ユニバーサルデザイン紹介文に、本時の新出文法を取り入れた英文を書き足す。 ・I am sure that this product helps many people. ・I am glad that I can tell you my idea. ・I am happy that you became interested in universal design.	**◎正しい語順で英文を書けるようにするために、be 動詞の後ろには、自分の感情や心理を表す「形容詞」、that の後ろには、主語＋動詞の順で単語が入ることを、例文を提示して確認する。** ・自分の表現したいことが英文に表せるように、感情や心理を表す形容詞の例を提示したり、辞書やタブレットを活用して単語を調べる時間を設定したりする。
40	５　振り返りを書く。 「主語＋be 動詞＋形容詞＋that を用いれば、自分の感情や心理を表すことができると分かりました。ユニバーサルデザイン紹介文が完成したので、練習をして、しっかり伝えられるようにしたいと思います。」	・本時の新出文法を理解して、正しく英文を書くことができたか、という視点で振り返りを記述するように説明することで、学習課題に対する自分の取り組みを的確に振り返ることができるようにする。

３　評価

・主語＋be 動詞＋形容詞＋that の構文の使い方を理解し、自分の感情や心理を表す英文を書くことができたか。
（ワークシートの記述内容、振り返りの内容から判断する。）